

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 宮城小学校校長 臼田治夫

1 学校教育目標

- ①なかよく：豊かな人間性
 ②元気に：健康な心と体
 ③がんばる 宮城の子：基礎学力の定着・学ぶ意欲の向上

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
 ②多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
 ③学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。
 ④様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12,930 冊（蔵書基準冊数 9,560 冊）／ 蔵書率 135.3%（前年度末 124.57%）									
	② 新規購入図書 607 冊 ／ 廃棄図書 583 冊 ／ 増減冊数 +24 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.4%	0.9%	6.1%	7.0%	12.2%	4.3%	3.0%	6.5%	2.7%	56.0%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業中・中休み									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 55.0 冊（前々年度末 49 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 93.3%（前々年度末：96%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 冊（蔵書基準冊数 冊）／ 蔵書率 %									
	② 新規購入図書 冊 ／ 廃棄図書 冊 ／ 増減冊数 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 冊（前年度末： 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 %（前年度末： %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①絵本や図鑑などに興味をもち、すすんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、決まりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標	①担任が学校図書館の中から学級図書を選書し、教室に配置することで、児童の実態に合った本を読む機会を増やす。 ②読み聞かせを行うことで、読書に対する楽しい経験を積ませる。 ③学校図書館の利用の仕方について知る。	達成基準 ①一年に2回担任が選書し貸し出しを行う。 ②図書ボランティアや図書支援員、図書委員会による読み聞かせを年に20回以上行う。 ③学校図書支援員による学校図書館オリエンテーションを全クラスで実施する。
目標達成状況	① ② ③	

第2学年	①いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①担任が学校図書館の中から学級図書を選書し、教室に配置することで、児童の実態に合った本を読む機会を増やす。 ②調べ学習を取り入れて、様々な本に触れる機会を増やす。	①年に2回担任が選書し貸し出しを行う。 ②1年間に2回以上の調べ学習を行う。また、年間で一人当たり50冊以上の本を読む。
目標達成状況	
① ② ③	
第3学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、すすんで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①担任が学校図書館の中から学級図書を選書し、教室に配置することで、児童の実態に合った本を読む機会を増やす。 ②好きな本を紹介しあうことで、友達が読んでいる本のジャンルにも興味をもって読書しようとする意欲を育てる。 ③辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。	①年に2回担任が選書し貸し出しを行う。 ②年間で一人当たり40冊以上の本を読む。 ③図書館を使った調べ学習を年2回以上行う。
目標達成状況	
① ② ③	
第4学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館をすすんで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
①担任が学校図書館の中から学級図書を選書し、教室に配置することで、児童の実態に合った本を読む機会を増やす。 ②自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ③辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。	①年に2回担任が選書し貸し出しを行う。 ②1年間で一人当たり30冊以上の本を読む。 ③図書館を使った調べ学習を年2回以上行う。
目標達成状況	
① ② ③	
第5学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館をすすんで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準

①担任が学校図書館の中から学級図書を選書し、教室に配置することで、児童の実態に合った本を読む機会を増やす。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。	①年に2回担任が選書し貸し出しを行う。 ②年間で一人当たり20冊以上を読み、図書館を使った調べ学習を年2回以上行う。
---	---

目標達成状況

① ② ③

第6学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館をすすんで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
-------------	--

今年度の成果目標	達成基準
-----------------	-------------

①担任が学校図書館の中から学級図書を選書し、教室に配置することで、児童の実態に合った本を読む機会を増やす。 ②複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	①年に2回担任が選書し貸し出しを行う。 ②図書館を使った調べ学習を年に2回行う。 ③リクエストをもとに低学年への読み聞かせを年3回以上行う。年間で一人当たり20冊以上の本を読む。
---	---

目標達成状況

① ② ③

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<p>【蔵書・配架等に関すること】</p> <p>①新規購入図書の受け入れ、登録作業は随時進め、12月までに完了させる。 ②全体の状況を把握し、除籍候補リストや分類の偏りを確認して購入図書候補リストの作成をする。</p>	
<p>【学校図書館支援員との連携・協働】</p> <p>①学校図書館オリエンテーションの実施や、授業に必要な教材や資料の貸し出し、図書展示を行う。 ②調べ学習をはじめ、授業に必要な資料についての相談や情報交換を行う。 ③学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。 ④読書を教育活動の様々なことと関連づけるカリキュラム・マネジメントを進める。</p>	
<p>【その他】</p> <p>①学校図書館以外にも本と関わる機会を増やすために、教室前の廊下に本を設置する。 ②読書感想文コンクールに参加することで、本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図る。</p>	

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）